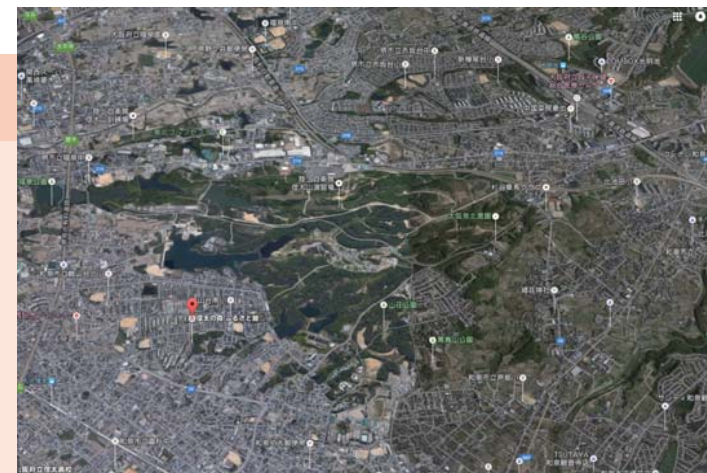


平成30年度「信太山里山講座」第1回の実施報告

①「信太山里山講座」第1回

- 実施日：7月21日（土）
- 時間：13時00分～15時00分
- 場所：信太の森ふるさと館
- 受講生：参加者17名（一般参加者5名、既会員12名）
講師・スタッフ8名

前半は、「公園としての信太山丘陵市有地のテーマ・理念を共有する」として、藤原 宣夫氏（大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 緑地環境科学専攻 教授）による講義が行われました。また後半は、実際に保全活動に長年取り組んでおられる田丸 八郎氏（NPO 法人信太の森 FAN クラブ）による「保全活動のための湿地とふれあう際の心がけ」についての講義が行われました。



講座 1.

藤原 宣夫氏（大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 緑地環境科学専攻 教授）による「公園としての信太山丘陵市有地のテーマ・理念を共有する」

公園として、保全・活用する信太山丘陵市有地の経緯や公園の理念・方針、また信太山の里山環境の紹介や保全上の問題等について講義がありました。



藤原氏による講義



諸和 50 年代の信太山丘陵市有地

講座 2.

田丸 八郎氏（NPO 法人信太の森 FAN クラブ）による「保全活動のための湿地とふれあう際の心がけ」

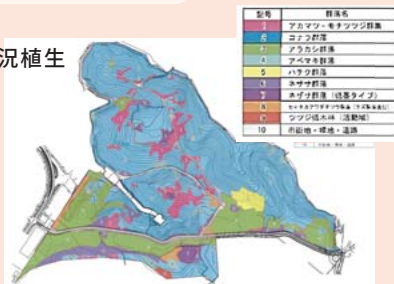
田丸氏がこれまでに長年保全活動に取り組んできた経験を踏まえ、希少な湿地の特徴や取り扱い方、活動の際に気をつけること等について説明して頂きました。



田丸氏による講義



現況植生



目標植生



カヤネズミ

平成30年度「信太山里山講座」第2回の実施報告

④「信太山里山講座」第2回

- 実施日：8月5日（日）
 - 時間：10時00分～14時10分
 - 場所：大阪府営泉佐野丘陵緑地
 - 受講生：参加者24名（一般参加：6名、既会員：18名）
講師・スタッフ11名
- 先進的に取り組まれている里山保全活動の事例として、「大阪府営泉佐野丘陵緑地」の見学を行いました。
- 大阪府より、現地を歩きながら、里山保全活動の取組等を紹介して頂きました。その後、パークセンターにて、「泉佐野丘陵緑地パーククラブの活動を学ぶ」についての講義が行われました。

講座1.

土橋 一也氏（大阪府岸和田土木事務所）による「里山活動事例見学」

現地を巡りながら、各ゾーンで異なる里山の維持管理の方法や、イベント等での活用について説明して頂きました。



土橋氏による園内概要の説明



竹林管理の説明



眺望を活かした自然環境の管理について説明を受ける



講座2.

那須 利之氏（泉佐野丘陵緑地パーククラブ代表）による「泉佐野丘陵緑地パーククラブの活動を学ぶ」

当初の計画から段階を踏んで進められてきた活動の変遷について説明して頂きました。また、参加者からの質問により、管理運営の体制についても紹介頂きました。これから公園づくりを進めていく信太山丘陵市有地にとって、今後の活動の参考になりました。



ホタルが出現するせせらぎ



バイオマストイレの説明



手つくりの園路



那須氏による講義



森の館で行われた講義の様子

④「信太山里山講座」第3回

- 実施日：9月2日（日）
- 時間：10時00分～12時00分
- 場所：信太山丘陵市有地南西側草原エリア
- 受講生：参加者9名（一般参加4名、既会員5名）
講師・スタッフ5名

講座1.

三輪 健一郎氏（NPO 法人いずみの国自然館クラブ）による「公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ（実践）」

器具や機械の安全な使い方についての講義を行い、その後、参加者が実際に刈払機を使う体験を行いました。参加者は慣れない機械に手こずりながらも真剣に取り組んでいました。

信太山丘陵市有地南西側草原エリアにて、三輪 健一郎氏（NPO 法人いずみの国自然館クラブ）による「公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ（実践）」についての講義が行われました。



三輪氏による道具の使い方の説明



説明を聞く受講生



刈払機を体験する受講生



丁寧な指導により技術が向上



実践参加：定例の環境保全活動と合流